

あいち防災フェスタ (あいち防災協働社会推進大会) 防災&ボランティアフォーラム が開催されました!

南海トラフの巨大地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるため、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とするあいち防災フェスタ(あいち防災協働社会推進大会)・防災&ボランティアフォーラムが「あいち地震防災の日」の平成24年11月11日(日)に愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で開催されました。

大村知事のあいさつを皮切りにオープニングセレモニーが始まり、防災貢献団体表彰と防災・減災備L(そなえる)ガイドPRキャラバン隊「防災・減災備L(そなえる)隊」の発表式が行われました。

防災貢献団体表彰では、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した7団体に知事から感謝状が贈られました。

セレモニー終了後は、瀬戸市立笠原小学校バトン部による演技や衣浦東部広域連合消防局消防音楽隊による演奏、MKPによるライブステージなどで大きな歓声が上がっていました。

会場となった大芝生広場では、あいちの雨模様の中、家具や書庫等の転倒防止や東日本大震災等の被災地の写真展示、ボランティア活動のパネル展示



会場の様子



ステージイベントの様子(上:瀬戸市立笠原小学校バトン部演技 中:衣浦東部広域連合消防局消防音楽隊演奏 下:MKPライブステージ)



防災貢献団体表彰



大村知事あいさつ



安城防災ネット (安城市)

安城市民を大災害で死なせない!人が人を最小限に!をコンセプトに、あいち防災リーダー会・安城を発展させる形で設立されました。安城市が主催する防災訓練や防災リーダー養成研修、市民防災フェアなどに協力するとともに、耐震補強や家具固定の重要性を啓発するなど、地域の防災・減災力の向上に貢献しています。

石ヶ瀬自主防災会 (大府市)

住民との話し合いやまち歩きを通し、地域の細かな地形や東海豪雨時の浸水実績、水害発生時の避難経路や浸水プロセスなどを分かりやすくまとめた水害手づくりハザードマップを作成しました。その活動は水害にとどまらず、手づくり地震防災マップや災害時要援護者マップを作成するなど積極的な活動を行っています。

岡田防災会 (知多市)

住民の安否をきちんと確認できる組織を目指し、住所や氏名要支援状態といった基本情報とともに、災害時に備え、職業経験や資格、災害用資機材の有無を記した「防災台帳」の作成に力を入れました。また、実効性のある態勢づくりのため、避難誘導や救出救護といった分野別研修会を開催し、知識・技能の向上に努めています。

折戸区自主防災会 (日進市)

地元消防団や子ども会だけでなく、周辺自治体の自主防災会とも合同で防災訓練を実施するなど、地域の連携を重視した防災活動を行っています。防災訓練では子どもが参加しやすいように防災ゲームを上映するともに、土のうや応急担架づくりといった参加体験型の訓練を中心に行うなど、創意工夫を凝らしています。

野場区防災会 (幸田町)

区内3カ所に設けた避難場所において大規模地震を想定した防災訓練を実施しています。新興住宅地区の住民も多数参加しており、コミュニティ間の連携が図られています。また、小型動力ポンプや防災車両、緊急放送設備などを整備するとともに地震避難場所マップを作成し、地域防災力の強化を行っています。

馬場区自主防災会 (武豊町)

現在の自主防災会を継続性のある活動を行う組織に改め、体制を整備、強化することを目的に、第1次3ヵ年活動推進計画を策定しました。組織の改定にあたっては、企画部会や防災技術部会といった4つの専門部会からなる自主防災支援専門委員会を立ち上げ、専門的な視点で基盤の強化を図っています。

拾石町自主防災会 (蒲郡市)

蒲郡市内にある自主防災会のリーダー的存在として、他の地域の模範となる自主的な活動を続けています。昨年は、特別養護老人ホームの消防訓練に参加し、救出訓練、消火訓練を実施しました。日常的には、防災資機材の整備や町内設置の街頭消火器の見回りをするなど、地域に密着した活動を行っています。

平成24年度 防災貢献団体表彰受賞団体の取組みを紹介します!



あいち防災協働社会推進協議会より



一般社団法人中部経済連合会 菅原章文常務理事

今回、あいち防災協働社会推進協議会委員の一般社団法人中部経済連合会の菅原章文常務理事にお話を伺います。まず、中部経済連合会の防災に対する取組みを教えてください。

中部経済連合会では、「防災特別委員会」において、中部圏の企業の防災・減災に向けて、次の取組みを実施しています。

第1に、企業の防災意識の高揚、地域との共助を推進するために、国や自治体の対策や企業における対策についての情報交換の場として「企業防災連絡会」を年に2回開催しています。

第2に、ICT基盤の整備推進のため、平成24年5月に提言書「東海・東南海・南海

地震の減災に向けた情報基盤の整備について」を公表し、関係機関に対して、実現に向けた働きかけを行っています。

第3に、中部経済産業局と連携して平成24年4月に設立した「中部地域産業防災フォーラム」において、産業防災・減災に対する活動を支援しています。具体的には、高いレベルでのBCPの策定・普及を図り、企業の事業継続力のさらなる向上を図る活動を展開しています。

最後に災害に強い国土づくりを目指す観点から、道路の多重化の確保も一段と必要となっており、道路ネットワークの強化など、インフラ整備に関する要望活動を積極的に実施しています。

一企業が防災活動に取り組む際に心がけることなどはありますか。

大ききは三点あると思います。

一つ目は、被災した場合の事業資産の損害を最小限にとどめ、事業継続や早期復旧を可能とするために、事業継続計画を策定し、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方針、手段などを取り決めておくことです。

二つ目は、災害発生時には、顧客の安

全、次に企業で働く人たちの安全を確保するとともに、火災、建築物等の倒壊、薬液の漏洩などの二次災害を防止するための対策を講じることです。

三つ目は、行政等と連携し、地域の日も早い復旧を目指すことです。

一最後に、防災協働社会を推進していくには、どんな取組みが大切だと思いますか。

広域的な災害では、自助による企業単位の継続計画だけでは、不十分であり、企業や自治体、住民など、地域単位の共助が非常に重要であると思います。

一ありがとうございました。災害被害を軽減するため、地域の人々が互いに連携・協力していくことが大切となりますね。

中部経済連合会とは...

中部経済連合会は、長野・岐阜・静岡・愛知・三重の中部5県を活動エリアとする、広域的な総合経済団体であり、中部圏を代表する約750の企業・学校法人・経済団体で構成されています。国内外の重要課題について調査・研究を重ねるとともに、必要に応じて政府・関係機関などに対し、提言・要望活動を展開しています。

防災ナマズンを探せ!

イベントなどで写真に収めた、とっておきの防災ナマズンをお送りください。

応募方法

●郵送またはメール

郵送の場合はプリントアウトしたものを同封し、メールの場合はJPEG形式(2.5MB以内)で保存したものを添付してください。お送りいただいた作品はご返却できません。下記の項目を郵送の場合は別紙に添えて、メールの場合は本文に明記の上、ご応募ください。(お一人につき一枚です。)

①氏名 ②年齢 ③性別 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦撮影年月日と場所 ⑧あいち防災通信をご覧になった場所 ⑨今後取り上げてほしいテーマ ⑩ご意見・ご感想

郵送

〒460-8501(住所記載不要)

愛知県防災局防災危機管理課「あいち防災通信 防災ナマズンを探せ!係」

メール

bosai@pref.aichi.lg.jp 件名「あいち防災通信 防災ナマズンを探せ!係」までお送りください。

素敵な作品を送ってくださった方の中から抽選で10名様に「緊急避難持出ポーチセット」をプレゼントします。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた情報はより良い紙面づくりのためにのみ使用します。



締切:平成25年
3月8日(必着)

